



2019年4月25日

各位

上場会社名 東邦化学工業株式会社
代表者 代表取締役社長 中崎 龍雄
(コード番号 4409)
問合せ先責任者 常務取締役経理本部長 井上 豊
(TEL 03-5550-3735)

税効果会計上の評価性引当額の見直し 並びに業績予想の修正に関するお知らせ

税効果会計上の評価性引当額の見直しに伴い、2018年11月7日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 税効果会計上の評価性引当額の見直しについて

当社は、過年度に税務上有税にて計上し、税効果会計上評価性引当額を計上していた連結子会社東邦化学(上海)有限公司に対する出資金評価損2,418百万円について、税務上損金算入されることになり、評価性引当額が減少する見込みとなりました。

この結果、税金費用が減少し、親会社株主に帰属する当期純利益が608百万円増加する見込みです。

2. 業績予想の修正について

2019年3月期通期連結業績予想数値の修正(2018年4月1日~2019年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する当期 純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	46,000	2,400	2,070	1,400	65.64
今回修正予想(B)	45,294	2,200	1,894	1,908	89.47
増減額(B-A)	△705	△199	△175	508	
増減率(%)	△1.5	△8.3	△8.4	36.3	
(ご参考)前期実績 (2018年3月期)	42,762	2,398	2,437	997	46.76

修正の理由

売上高は、製品需要が予想より弱含みで推移し、前回公表(2018年11月7日)した業績予想(以下、前回予想という)を下回る見込みです。

利益面についても、売上高予想の下振れの影響から、営業利益、経常利益共に前回予想を下回る見込みです。一方、親会社株主に帰属する当期純利益は、上記1の理由により税金費用が減少するため、前回予想を上回る見込みです。

以上